

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	OXFORD UNION 英語研修
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	36,000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	5,000 円	
現地通学費	8,000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	6,000 円	
被服費	10,000 円	
雑費	円	
その他	15,000 円	例:お土産
合計	80,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で円をポンドに替えました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカードを主に使用しました。現金を使う機会はほとんどありませんでした。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM を用意しました。出発前にインターネットで購入し、現地に着いてアクティベートしました。ヒースロー空港の Wi-Fi は安定していたので、難なく eSIM の使用を開始することができました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
留学のしおりに記載されていた持ち物リストにあるもののみで十分でした。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
インターネットで調べるなどしました。危ない目にはあいませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なく使うことができました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
はじめてのホームステイで緊張していたのですが、ホストファミリーは温かい方々で、ほどよい距離感で接してくださったので、心地よく滞在することができました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
午前中はオックスフォードの歴史や建築など様々な内容を学ぶテーマ授業、午後はペアで2週間かけてオックスフォードに関する動画を制作する授業を受けました。午前の授業も午後の授業もとても興味深い内容で、楽しみながら英語力を上げることができました。発言する機会も多かったため、英語を人前で話すハードルが下がってよかったと思います。
2)課外プログラムについて
週に2,3回ほど放課後に課外活動があり、セントメアリーズ教会やクライスト・チャーチ、アシュモolean博物館など、オックスフォードの観光名所に先生のガイドのもと、訪問しました。特に印象的だったのは、ハリーポッターシリーズの撮影で有名なクライスト・チャーチの訪問です。食堂や廊下、階段などすべてが壮麗でまるで魔法の世界にいたようでした。
3)現地での生活に関すること
ホームステイ先では、週に1回洗濯をしていただきました。ホームステイ先はオックスフォードからバスで30分から40分ほどの場所にありました。朝のバスはとても混雑しているのですが、バスが2階建てで座席数が多いので、毎日座ることができ、快適でした。授業後は友人たちと散策やショッピングカフェに行くなど、充実して過ごすことができました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
1週目の金曜日の課外活動では、オックスフォード大生と交流し、質問などをする会がありました。オックスフォード大生の普段の生活を知ることができて興味深かったです。交流の後には、学生が所属するキャンパスに連れて行っていただき、見学することができました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外では、現地学生との交流はありませんでした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
以前ヨーロッパに留学していたことがあるので、カルチャーショックなどはあまりなかったように思います。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は彬子女王が書かれた『赤と青のガウン』という留学記を読み、オックスフォードの街に興味があったこと、今まで苦手意識のあった英語への抵抗感をなくしたいという気持ちからこのプログラムに参加することを決めました。初めてのホームステイや慣れない英語を使う環境に、出発前は緊張していたのですが、滞在中は全力で楽しむことができました。私にとって一番大きかったことは友人たちとの出会いです。このプログラムには、明治大学以外の大学からも参加者がいるため、大学も学年も専攻も異なる学生と出会うことができました。今年の参加者は10人だったのですが、全員仲良く楽しく2週間を過ごすことができました。プログラム後も交流をずっと続けていきたいと思える素敵な友人たちとの出会いでした。私は4月から大学院に進学するのですが、この留学で身に着けることのできたオープンマインドであることを大切に今後も人と関わっていききたいと思います。これからこのプログラムに参加される方にも留学を通してよい出会いや発見があることを祈っています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Oxford Union
-----	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	41970 円	
図書費・学用品費	3794 円	
携帯・インターネット費	12190 円	
現地通学費	7494 円	(研修先まで 30~40 分)
教養娯楽費	36209 円	レミゼラブルのチケット代、その他観光施設の入場料
被服費	7101 円	オックスフォード大学の公式パーカー
雑費	43615 円	お土産代
その他	27766 円	例: ロンドンへの交通費、ロンドンでの宿泊費
合計	18,0139 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 空港の両替所で出発当日に日本円からポンドに両替
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 クレジットカード、特にタッチ決済ができるものが役立ちます。バス、地下鉄ではクレジット決済が主流なので、そうした場面で便利です。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 Trifa の eSIM を利用しました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 イギリスでは突然小雨が降ることがあるので、折り畳み傘を持参して正解でした。また、ホストファミリーに和食をふるまおうとしたとき、料理酒、みりん、めんつゆなど和食向けの調味料は一般のスーパーで入手しづらかったので、日本から持参したほうが良いと思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
 先生方やホストファミリーに直接聞きました。オックスフォード市内ではあまりないのですが、ロンドンではスリが多いので地下鉄や歩道ではバッグを体の前に持つ、iphone をみだりにポケットから出さないなどのことを徹底しました。また、夜8時以降の外出はできるだけ避けていました。
 友人を含め、犯罪被害にあった人はいませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 たまに eSIM の通信速度が遅くなり、バスに乗るための QR コードが出せないこともありましたが。安いプラン、アプリだとうした事態が起りやすいので、なるべく高くても充実したものを選んでください。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ホストファミリーの方と一緒に過ごす中で、「日本だとどんな料理を食べるの?」「イギリスでは地域によって発音が大きく違うけど、日本でもそういうことはあるの?」など日本とイギリスの違いについて聞かれることがあります。英語を学ぶことだけでなく、ともに時間を過ごしなが、外国との文化の違いを受け入れ、日本での習慣を見つめ直すことも存分に楽しむことができたと思います。これから留学される皆さんも、このことを忘れないようにしてください。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
講義の内容(宗教、オックスフォード大学の建築など)や現地の生活を踏まえて動画を作成する課題がありますが、動画編集の経験がない人にも、カメラのアンクル、動画の構成について指導が充実しているので安心して取り組むことができました。ただ、講義のレジュメに日本語(ただしアルファベット)で英単語の意味について注釈があるので、英語が熟達している人には少し物足りないかもしれません。
2)課外プログラムについて
セントメアリー教会、アシュモレアン博物館などオックスフォード大学内の歴史ある施設を見学することができます。また、クリームティー(紅茶とスコーンと一緒に楽しむこと。アフタヌーンティーの略式版)を体験できます。
3)現地での生活に関すること
ホストファミリーの家1軒につき、日本人が2人以上割り当てられることはないので、24時間英語に触れ続けることができます。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
オックスフォード大学の学生に普段の学生生活などについて聞き、その学生の所属するカレッジを案内してもらう機会が設けられています。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
私はそのようなことはしませんでした。友人は課題の動画作成のために現地の学生に対し街頭インタビューをしていました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
日本に比べて、ドアを押さえて後ろの人を通すなど気遣いが上手な人が多く、さすが紳士の国だなと思いました。自分のことで忙しく他者への配慮を忘れてしまっていないかと気づかせられました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

実は私は、今回のプログラムの1年前に、似たようなプログラムでアメリカに行ったことがあります。当時は英語力を鍛えるという目的のために努力はできたけれど、日本とアメリカの文化、習慣の違いすべてに戸惑い、不安に苛まれるばかりでした。でも、今回は「こういうこともあるよね」現地なりのやり方を受け入れることができました。前回と違い現地の生活、文化全体を楽しみに行く、というマインドを持っていたからだと思います。その延長線上で、英語学習も楽しみました。皆さん楽しんでください。
